



海外での生活を活かし、外国人向けのゲストハウス企画をしている野倉さん。  
そんな野倉さんにお話をお伺いしました。

●地域おこし協力隊に応募したきっかけは何ですか？

きっかけは、以前、興味があって参加した有鄰庵のゲストハウスでの開業合宿です。その時、倉敷の良さや、有鄰庵の活動を知って、倉敷に来て何か活動したいという思いが芽生えました。そんな時、倉敷市で、しかも有鄰庵で、外国人向けのゲストハウスに取り組む地域おこし協力隊を募集していると知って、すぐに応募しました。

●外国人向けのゲストハウスって大変そうですね。

学生時代に留学をしていたので、英語は、日常会話程度なら問題ないです。前職も、英会話講師をしていました。

私の特技である英語を活かし、倉敷に来られる外国人観光客への対応や案内に取り組み、外国人観光客が快適に過ごせ

る環境づくりに取り組みたいと考えています。

●倉敷に来た印象はどうか？

初めて見た美観地区は、昔の町並みが残っていてとても魅力的だと思いました。町並みは、残っているのではなく、倉敷に住む人たちが残しているのだと思います。また、古い建物や新しいものが共存しているのが印象的で、まち全体から、住む人の思いや、情熱を感じます。



行列のできる有鄰庵

●現在の活動について教えてください。

今は、主に有鄰庵のカフェや、ゲストハウスで外国人観光客の方の対応をしています。観光客との会話では、県外から来た私が感じた美観地区の魅力をできるだけ伝えられるようにしています。また、外国人向けの新しい宿泊施設も計画していて、観光客の方が安心して快適に過ごせるよう、コンセプトを考えています。

●活動をする中で、隊員になる前の生活と違いを感じますか？

有鄰庵で活動しているので、観光客のみなさんとの交流が増えたことは、生活の変化の1つだと思います。以前、海外で生活していたこともあり、外国人の方との交流などはありましたが、それとはまた違った交流ができていると思います。また、以前は電車を使って通勤をしていましたが、今は歩いて通勤をしています。倉敷の美しい景色を楽しみながら通勤でき、落ち着いた生活ができていると思います。



●海外での経験は、今の活動に活かされているんですね。

特に英語を使って活動ができるので、海外での経験は今に活かされていると思います。英語だけでなく、スペイン語も勉強したいと思い、メキシコで5年間生活していました。有鄰庵には、様々な外国人の方が来られるので、交流をする中で、とても役に立っています。

●これからやりたいことはありますか？

来年の5月ごろに、新しい外国人向けゲストハウスができる予定なので、今後も、ゲストハウスを中心に活動していきたいと考えています。倉敷の魅力を伝え、倉敷にまた来たいと思えるようなおもてなしをしたいですね。また、子どもたちに英語を教えていた前職も活かしていきたいです。まずは、美観地区に関わる観光スタッフに英語の技術を身につけてもらい、美観地区全体の英語のスキルアップができればいいなと思っています。美観地区全体で協力しておもてなしをすれば、倉敷にまた来たいと思う人が増えると思います。また、今後は、みなさんに倉敷のいいところをお伝えし、倉敷の知名度を上げていきたいです。

●最後に今後に向けて一言お願いします。

倉敷の美観地区は、古いものと新しいものが融合していて、とてもいい雰囲気が感じられます。この雰囲気を観光客の方にも感じてもらい、倉敷の良さをもっとみなさんに知ってほしいです。今後は、外国人向けのゲストハウス企画に力を入れながら、文化体験などの体験型観光プランなども掘り起こしていきたいと考えています。